



自己のキャリアについて考えました

10月はキャリア月間として各学年、キャリアに関する大切な行事が行われました。1年生は母校訪問や石川の技に関する講演会、2年生は企業訪問、3年生は修学旅行と、たくさんの人や場所に触れることができました。どれも「学びの場を教室の外に広げる」貴重な体験であり、そこで出会った人々の言葉や働く姿勢、地域の文化や歴史に触れた経験は、みんなさんの将来を考えるうえで大切なヒントになります。

「自分はどんな仕事をしたいのか」「どんな生き方をしたいのか」といった自身のキャリアを考えるきっかけになればと思います。そして、ぜひこの体験を、友人や家族などいろんな人たちと語り合い、共有してください。特に3年生は今後も続くみなさんの探究活動にもつながるはずです！



新しいことに挑戦し、一步踏み出そう

10月16日(木)には宮坂校長先生、30日(木)には能登復興支援のため活躍している大学生のお話を放課後に聞く機会がありました。宮坂校長先生はご自身のロシア日本語学校時代、錦丘中学校第15期の加藤さんは、現在中心的メンバーとして取り組んでいる「のと復興支援 Station」での活動のお話を通して、「自ら行動すること」「新しいことに挑戦すること」の大切さを参加した人達に語ってくださいました。

